

# くろぐみだより

第2号 平成23年6月3日 あさひ幼稚園

今号は「くろぐみつうしん」論説委員(笑)牧原東吾よりお伝えします。

【読売オンラインより転載】

茨城県鹿嶋市教育委員会が、福島第一原子力発電所事故による放射線の影響を不安視する声を受け、学校給食に県産食材の使用を見送っていることが28日、分かった。県内の農畜産関係者らは「風評被害を助長する」として、市教委の対応を疑問視している。(2011年5月29日03時05分 読売新聞)…。

翌30日、茨城県鹿嶋市教育委員会は一転、この給食の方針を地産地消へと変更した…。そして、可能性として子どもたちの被曝のリスクが減ったとはいえない。

\*

物事には、見方によってまったく違って見えることがある。

A 「危険性が証明できないから、安全である」

B 「安全性が証明できないから、危険である」

この二つはまったく同じ物事に対する考え方である。この二つのどちらに立つかによって、行動は正反対なものとして出力されることになる。そして両者が正当性を主張し、せめぎあうことを対立という。

ただし、その物事によって、たった今何も起こっていなければ、Aの立場よりも、Bの立場よりも大多数の人々、つまりわれわれ一般市民は、多くの場合、

C 「傍観し、対立に巻き込まれないことによる無関心」

という立場を基本にして、目の自分の利する方を選択していくことになるのはやむを得なかったとも言える。少なくとも3.11までは…。

そして地は揺れ、波が押し寄せ、福島第1原子力発電所は今もなお大量の放射能を、陸に、海に、空に撒き散らせ続けている。

\*

3.11以前は、このA、Bによる対立と、Cの無関心という構造が顕著であった。

Aである推進派は、「危険性が証明できないから、安全である」として国のエネルギー政策の基幹に定め、54基の原発をさらに増設する方針だったが、福島第1原発事故によって、「危険性が証明できないから、安全であると思っていたが、想定外…」安全神話は崩壊し、とりあえずは浜岡原発を停めたが、今もなお超弩級の危険が継続している。

Bである反対派は、「安全性が証明できないから、危険である」と主張し続けたが、多勢に無勢、結果はわかっていたとおり最悪の結果に至ってしまった。A対Bという対立構造さえ問わなければならぬのかも

れないとしたら、それはCへの投げかけの不足あるいは方法の至らなさである。

そしてCであるわれわれは、「傍観し、対立に巻き込まれないことによる無関心」によって、目の自分の利する方をつまみ膨大なエネルギー消費による“成長経済→豊かな生活”を選択し、結果としてその恩恵を享受し続けた。しかしその帰結は、3.11以前の平穏とは間逆の、原発事故による放射能汚染の恐怖である。

状況は変わったのである。

今、東北関東を中心に、日本全国で、この立場性をめぐり、個人として、公人として、長年の平和ボケを突き破って混乱が起こっている。Aも、Bも、今までの立場性であって良いわけはなく、Cであったわれわれも、もう「傍観し、対立に巻き込まれないことによる無関心」で居続けるわけにはいなくなった。「傍観し、トラブルを避け続けていたら」、大切な子どもたちの体と未来を奪うことが明確になったのだから。

## 「世界もおどろく日本の基準値2000ベクレル」 ver3.0

こんなにゆるい日本の暫定基準値

目のみものの基準値

アメリカの法令基準	0.111 Bq/L
ドイツガス水道協会	0.5 Bq/L
ウクライナ(セシウム137)	2 Bq/L
WHO基準(ヨウ素131)	10 Bq/L
WHO基準(セシウム137)	10 Bq/L
ベラルーシ	10 Bq/L
国際法 原発の排水基準値	
ヨウ素131	40 Bq/L
セシウム137	90 Bq/L
日本の暫定基準値(乳児)	100 Bq/L
日本の暫定基準値	
セシウム(Cs-137)	200 Bq/L
ヨウ素(I-131)	300 Bq/L

ママたちの基準値

ベラルーシ(子供)	37 Bq/kg
ウクライナ(野菜)セシウム137	40 Bq/kg
ベラルーシ(野菜)	100 Bq/kg
コーデックス(Sr90,Ru106,II131,U235の合計)	100 Bq/kg
アメリカの法令基準	170 Bq/kg
これまでの日本の輸入品規制値	370 Bq/kg
日本の暫定基準値(野菜)セシウム137	500 Bq/kg
日本の暫定基準値(野菜)ヨウ素131	2000 Bq/kg

●正しく知って子どもたちを守りましょう。

\*コーデックス: CODEX, FAOとWHO共同の合同食品規格委員会

どこからか聞こえてくる、「…の野菜は基準値を超えていないから」を鵜呑みにする前に、この表の数値を、しっかりと母の目のみで見つめてほしいと思う。パンドラの箱は開けられてしまったのだから。

\*

予告 7月17日(日) 14時から16時 岡崎市勤労文化センターにて 環境学習講座「未来を創るのは私たち～放射能から我が子を守るために～」を開催します。岡崎市内私立幼稚園児保護者に後日ご案内の予定。  
主催 : 特定非営利活動法人 おかざき環境教育フォーラム・わか